

滋賀新堀ギター音楽院の合言葉は”みんなで市民ギターオーケストラに参加しよう！”

これまでギター音楽に関わる作曲家を紹介してまいりましたが、今月で終了します。最後に登場するのはアメリカの作曲家、リチャード・ロジャースです。数々のミュージカルを手がけ、中でも「サウンドオブミュージック」は、今でも見るたびに深い感銘を覚えます。中でも子供達の父トラップ大佐がギターを抱えて歌う「エーデルワイス」は、祖国愛、子供達への愛に満ちており、ギターの素朴な響きがそれを一層高めておりました。彼は、エミー賞、グラミー賞、アカデミー賞、トニー賞、ピュリッツァー賞全てを受賞した数少ない作曲家でした。



教室開校及び市民ギタ―

オーケストラ結成20周年
2005年5月15日が開校日
です。今年は「100人大合奏の
募集や、発表会がいつもより早

い事もあり、すっかり忘れておりました。5月15日に教室いっぱいのお客様を迎えて開校コンサートを行い、そこに来られた大正琴コカリナの方達をお誘いして5月28日



開校コンサート



開校コンサート

に市民ギターオーケストラの練習を行いました。確か8名くらいだったと思います。教室の開放校と合奏団の初練習が同じ月とというのは大変稀なことなのですが、私の中では教室を開くことより、一日も早く市民ギターオーケストラを開始し、50名規模まで持つてゆくことが目的でしたから当然と思っております。それでも第二回目の練習はとも楽しかった。最初から支えてくれた岸上夫妻、中尾さんには感謝感謝です。

そして、その年12月にはクリスマスコンサートを有料で行ったのです。これもすごい記録です。コンサートの役員もすべて市民オーケストラのメンバーが担って

3回目の市民オーケストラ練習



3回目の市民才ケ練習

私は小さい頃から音楽教育を受けたわけではなく、音感もそれほど良くありません。しかし、“大勢と一緒に音楽を作る”ということに、関してはまとめる自信があります。そして、何よりそこに「音楽の大きな力」を感じています。高度な技術がなくても心を合わせ、息を合わせ、皆で一つの曲に向かってゆくと充実感、一体感等が味わえ、幸せな気持ちになります。この「音楽の力」をできるだけ多くの人に体験してもらいたい。これが、滋賀にやってきた一番の目標です。

「○○人大合奏どうしても成功させたい！」

1000人の大合奏

無料講習会から

5月4日は14名の方が来られました。「八日市のジャズフェスでチラシを貰い興味があつたのでとにかく来てみました。」と京都からお出でになった方。鳴子という打楽器で参加の方等々。18日はこれまでで最高の17人の参加者があり、急遽個人レッスン室も開放して行いました。アコギで参加の青年の方、明るくノリが良いのでギターロンを持っていただき、フールジャックと一緒にやってみました。なかなかいい感じで、市民オケのギターロン奏者へプッシュしました。こうしたことがきっかけとなるのも面白いですね。

それゆけ市民
ギターオーケストラ

早いもので市民オケに参加し3年になります。定年退職後からクラシックギターの演奏とランニングを本格的に楽しんでます。この二つの趣味は、体と心の元気を保つためにも役立っています。ギターを弾くときは、指をよく動かしたり、楽譜を読んだりします。これが頭の体操になり、もの忘れを防ぐ助けになるものと期待しています。音楽のやさしい音色には気持ち落ち着ける力もあります。人と一緒に演奏する楽しさもあり、会話が生まれて、さびしさを感じにくくなります。

また、ランニングは体をしっかり動かす運動です。足腰が強くなり、転びにくくなります。外の空気を吸いながら走ることで、気分もすっきりして、心も元気になります。音楽と運動というふたつの趣味は、年をとってもいきいきと過ごすための力になります。好きなことを続けることで、毎日がもっと楽しくなり、長く元気に生きられると思います。私はこれから、自分のペースで趣味を楽しむながら、明るい日々を重ねていきたいです。市民オケの皆さんと演奏活動をするので趣味が導く健康やかな老後を通じて健康寿命を延ばしたいものです。2000人大合奏を成功させましょう。

プライムギター 分部

滋賀市民ギターオーケストラ 6/14、28～滋賀県婦人会館
ギターアンサンブル湖風 6/ 7、～教室
ふなっこ・あゆっこ合奏団 6/10、24～教室

〔2025年主な行事〕

6月1日(日)第19回大発表会 文芸セミナリヨ

6月21(土)、22(日) NE50周年記念公演 小山指揮(東京・藤沢)

8月31(日)関西中部ギターフェスティバル(京都・綾部市)

9月21日(日) 1,000人のよろこびの歌

近江八幡市文化会館大ホール

6月の予定

7月の予定

[illegible]